富士川町 議会だより

第66号
令和8年(2026年)10月26日発行



■こんなまちにしたい‼ こども議員の提案は p.2
■定例会 その議案に、質疑します‼ p.6
■議員辞職勧告決議の結果は‼ p.13
■ズバリ聞きます! 一般質問 p.14

富士川町議会 検索
山梨県富士川町議会

公式SNSをはじめました
HP Instagram Facebook

こんなまちにしたい

2026 こども議会 7/31開催

7月31日に、こどもたちに地方議会の仕組みを身近に感じてもらい、町政について関心を持ってもらうことを目的に「2026こども議会」を開催しました。

8人のこども議員（中学生1人、小学生7人）が、町に対する熱い思いを元気に堂々と提案し、町議会議員が講評をしました。

令和8年度こども議会（YouTube）



鮫田（さめた） みはる 議員

ポイ捨てのない きれいな町に

ポイ捨てをしないように呼びかけるポスターや看板を増やしてほしいです。ゴミを捨てると、環境にどのような影響があるのかを学ぶ機会を増やしてほしいです。みんなが気持ちよく暮らせて、町に来た人も笑顔になれるように願っています。

本人の感想 ポイ捨てをする人に声をかけてくれるというので、きれいなまちづくりにつながると思い、とてもうれしかったです。



川住（かわすみ） 岳（がく） 議員

学校の体育着を 通気性の良い涼しい素材に

最近の異常な暑さでは、熱中症になったり運動ができなくなってしまいます。そこで、体育着を通気性の良い涼しい素材の体育着にしてほしいです。この提案が実現したら、熱中症対策につながり、より安全に体育の活動ができると思います。また、暑さで体育が嫌になることも減って、みんなのやる気もアップすると思います。

本人の感想 楽しかったし、ちょっと難しいところもあって緊張したけど、それでもいい経験になりました。

自由な発想の提案



深澤（ふかさわ） 実夢（みゆ） 議員

学校の体育館にエアコンを

夏は熱中症になる可能性があり、冬は寒く風邪をひいてしまうかもしれない。夏にエアコンを付ける費用は、町のお金とクラウドファンディングの寄付型でお願いしたいです。実現したら、夏の暑い日でも安全に体育ができると思います。

本人の感想 本物の議場で発表することが初めてで、緊張した。でも初めての経験だったので、ためになったと思います。



宇田川（うだがわ） 碧（あおい） 議員

学校で馬を飼って動物と触れ合いたい

学校で動物を飼いたいです。できれば馬など、乗ったりできる動物がいいです。動物がいたら楽しいから、不登校が減ると思うからです。

学校で楽しいことが増えれば不登校やいじめなどがなくなると思うからです。

本人の感想 ちょっと、緊張したけど、言うことはしっかり言えて良かったです。

こども議員8人がまちへの提案を熱弁 わたしたちは

大人が気付かされた提案



依田 悠佑 議員

ゴミ拾いに活用できるアプリを

楽しみながら街をきれいにする方法として、アプリを活用することを考えました。アプリの仕組みは、ごみを拾って写真を撮るとポイントがもらえるというものです。ポイントは、町のお店で使えるクーポンに交換できるようにして、楽しさと地域貢献を結びつけます。また、学校や地域ごとにランキングなどを設定すれば、友だちや家族と競い合いながらごみ拾いに取り組めます。

本人の感想

今日一番印象に残ったのはクイズで、日本とかアメリカとかの人の将来の夢があるかどうかで、意外と日本の人って将来の夢がないんだなって思いました。今日、紹介された国以外でも将来の夢がある人、ない人の気持ちをもっと知りたいです。



保坂 優太郎 議員

中学校の土日の部活参加用のスクールバスを

中学校の土日の部活にスクールバスが出ていない。中学校から遠く、自転車も使えない人は、親が送迎するしかない。同じ町に住んでいる中学生が、中学校から遠いというだけの理由で部活に参加できないのは不平等です。

そのために、土日もスクールバスを出してほしい。統合したことで、中学校から遠い人がみんなと同じ活動に参加できないということは、なくすべきです。

本人の感想

最初は、かまないかどうか心配だったけど、ゆっくりはっきり自分の考えを伝えることができて良かったです。



沢登 菜の葉 議員

こどもが遊べる屋内アスレチック施設を

雨の日に遊べる場所が少ないので、子どもが遊べるアスレチック施設をつくってほしいです。できれば勉強スペースも。廃校になった学校などを利用して、資金はクラウドファンディングでお金を集めて遊具などを買ったらいいと思います。みんなが気軽に遊んで、勉強をして、スポーツを好きになれる子も増えると思います。遊ぶところが増えて、子どもが喜ぶと思います。

本人の感想

初めての経験で、貴重な経験だし、自分の意見をはっきり言えることは、いいと思うし、貴重な時間を過ごせたと思いました。



井上 颯希 議員

新校舎建設中での体育祭の実施について

グラウンド全面を使うことができない期間での体育祭について提案です。

3年間の制限ある中学校生活をより充実させ、一生の思い出として強く残すためには体育祭が必要だと考えます。場所は、増穂小学校のグラウンドの使用を提案し、体育祭をもう1度復活させたい。一生に3年間しかない中学校生活の中で、体育祭とか行事について何か頑張れたということは、1つの思い出として青春として残ると思います。団結力が深まると集団としての力が向上し、これからの学校生活をより充実させることにもつながります。

本人の感想

体育祭についてという、結構身近なテーマで提案をさせていただきました。実現っていうところに向けて、個人として組織として頑張っていきたいと思います。こういう機会があって非常に良かったと思える日でした。



こども議員として名札を確認

政治や議会に関する難問に挑戦





庁舎内の案内に真剣に耳を傾ける



未来の町長の椅子に座るのは誰かな



教育長さんに質問中



最後のご褒美選びに夢中!



ほっとしたみんなの笑顔

2026こども議会を終えて…

講　評

望月町長

皆さんの今日の体験、これは非常に貴重な体験になると思いますし、まさに私たちの町を、このように議論をしながら、みんなで考えながら前に進めていく、議会というのはそういうものだというふうに考えております。

今日の貴重な体験を、次につながっていくような形に変えていってほしい。自分たちの糧にしていってほしい。皆さん、立派でした。今日はありがとうございました。

樋口教育長

どの提言も、実現すれば生活の充実につながる大事な要素を含んでいました。皆さんの提言の中に、まちづくりやひとづくりのヒントがいくつもあったように感じました。同時に、皆さんの発想や行動が、まちを変えていく、社会を変えていく力につながる可能性を感じました。なお、サポートしてくれた2人のOBに、心からお礼を申し上げます。大変意味深いこども議会だったと思います。

高校生サポーターからのメッセージ



瀧澤（たきざわ） 厚也（あつや） さん

今年のこども議員のみなさんは、2つの強い力を持っているなって思いました。1つ目は自分の考えを持つ力と、そして2つ目は自分が考えた意見をちゃんと発表する、恐れずに発表するという力が強くあったと思います。この2つの力はすごく大事だと思うので、このこども議会での経験を糧にこれからも頑張ってください。



小松（こまつ） 未來（みくる） さん

資料作りで、パネルを作ってくる人を初めて見たので、とても感心しました。

今後の学校生活や日常生活などで、発言することの大切さを、ぜひいろんな人に伝えていってほしいと思います。私たちが今後幸せに過ごすためにも、自分自身が見つけた課題などを、しっかりと発信していくようにしましょう。

たくさんの方から感想をいただきました（一部抜粋）

保護者のみなさんから

「こどもの成長や変化はあったか」をお聞きしました

- いつもはできない体験ができた
- 社会や政治に関心を持つようになった
- 他のこどもと交流ができた
- 自信がついた

傍聴者のみなさんから

- 身近な問題、関心をこどもなりの思想で発表していた。真剣さに感動した。将来の富士川町の人材となる議員らしさでした。
- こどもたちの町や自分を取り巻く環境を良くしたいという思いを堂々と発表していて素晴らしかった。

※お寄せいただいたアンケートは別途、町のHP内（町議会編）で掲載を予定しています。



議員選出監査委員
堀内 春美 監査委員

この度、監査委員に任命されました。議長経験を活かして、町民の皆さまからお預かりした税金が正しく執行されているかどうか、しっかりと監査させていただきます。

7人の議員が定例会議案に質疑します

9月の定例会では、暑い時期における働きやすい服装や省エネルギーへの意識向上、マスコットキャラクターのゆずにゃんを通じ議場から富士川町をPRするため、ゆずにゃんポロシャツを着用した「ゆずにゃんクール」を実施しました。

今後のスポーツ振興に期待



深澤 一幸 議員

クラウドファンディング報償（企画総務費） 270万円

事業内容 スポーツ振興を目的に、クリーンファイターズと包括連携協定を結び、町のイメージ向上に努めている。

問 クリーンファイターズ山梨の応援グッズとして、タオルやベースボールシャツの作成費用として活用しようとしているが、それぞれの作成枚数は。

課長 総数1,500枚を配布する予定。

こどもたちの英語力向上に



宇田川 朱恵 議員

姉妹都市提携準備業務（企画総務費） 75万円

事業内容
子どもたちの英語力の向上と国際的な視野を育むため、フィリピンのラプラプ市と、数年前より姉妹都市提携に向け協議を進めている。

問 ラプラプ市との姉妹都市提携準備業務が、今回、補正予算に挙げられているが、具体的な内容は。

課長 事務的準備業務、英語版資料の作成費用ほか、当日の調印式に関わる進行、通訳の費用などである。

水道料金減免額の上乗せを



小林 有紀子 議員

物価高対策水道料金減免事業（水道事業会計負担金） 858万円

事業内容
国の物価高騰対策の全額補助金として、今回予算措置が図られた。

問 水道料金の減免額が1ヶ月1,040円であるが、交付金の範囲内ではなく、せめて2ヶ月分に上乗せを検討しないのか。

課長 交付金限度内で財政当局と相談し、国の推奨事業の中から全体を鑑みて、金額は少ないが決定した。

アニソン花火の費用対効果は

アニソン花火富士川公演運営業務（観光費） 3,000万円



斉藤欽也 議員

事業内容

企業版ふるさと納税として、指定寄付があり、昨年にひき続き実施となる予定である。

問 アニソン花火の3,000万円は町が主催であるが、この計画の経緯は。

課長 企業版ふるさと納税を原資に、本年3月に昨年の事業を踏まえ、反省及び継続を検討しつつ、政策会議を5回開催し、5月中旬に政策決定し今回事業提案した。



小林和良 議員

問 3,000万円を投入することで町への波及効果は。

課長 町内外インバウンドも含めた 集客効果、また町のにぎわいの創出及び、観光振興の持続的な発展と地域活性化を期待する。

なくてはならない医療センター



秋山仁 議員

峡南医療センター企業団短期貸付金（保健衛生総務費） 1億5,000万円

事業内容

富士川町と市川三郷町で共同設置しており、基幹診療型病院である。

問 現状1億5,000万円のキャッシュフロー※が見込めないと考えるが。

課長 事業資金としての当面の費用であり、富士川町、市川三郷町で1億5,000万円ずつ、両町合わせて3億円を企業団に貸付し、年度内に返済してもらう。

※キャッシュフロー…返済財源

契約締結は適正か



樋口正彦 議員

小中学校における１人１台端末の導入業務契約の締結 1,818万円

事業内容

令和2年度から導入した1人1台端末が更新時期を迎えたため、新たに340台購入した。

問 小中学校に１人１台端末の導入業務契約締結の随意契約とした理由は。

課長 県との共同調達および町の随意契約ガイドラインに基づき、随意契約とした。

決算特別委員会

ひとづくり分科会報告

生涯学習課

問 図書館の需用費として計上がされている合同庁舎維持管理経費（電気料、上下水道料）2,974,557円の算定根拠は。

答 国の合同庁舎に入居する官署との規定（面積割）に基づいて、当該年度の町負担分を支出している。

教育総務課

問 学校給食費無償化による影響は。

答 滞納者への事務作業などがなくなった分、地産地消給食を推進するための情報を得たり、生産者とつながることなどに時間を使うことができている。

福祉保健課

問 ヘルプカード71,500円の内容は。

答 見た目ではわからない障害の方や、配慮が必要な方が、ハンディキャップを周囲に伝えるためのもので、ヘルプマークの中に入れる必要とする支援を書き込むカードを200枚増刷した。

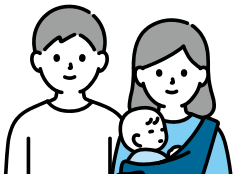


ヘルプマークと
ヘルプカード

子育て支援課

問 物価高対応子育て応援手当支援事業72,038,414円の内容は。

答 国の経済対策に基づく給付で、0歳から18歳以下の子どもがいる世帯に国2万円、山梨県が2万円で給付を行った。



財務課

問 峡南広域行政組合負担金は、どのように決定しているか。

答 負担金は均等割と人口割を根拠に組合議会において決定している。

政策秘書課

問 生成AIシステム2,376,000円の内容は。

答 あいさつ文など日常業務の支援として導入している。システム使用料は1年間契約である。

町民生活課

問 キオスク端末設置業務委託2,082,984円の導入による効果は。

答 住民票と印鑑証明が利用でき、窓口より100円安くなっているため、利用者は徐々に増えている。


町民ギャラリーに設置しています

まちづくり分科会報告

都市整備課

問 利根川公園内スポーツ広場の移設補償金27,724,000円について、JR東海からの補償はいつまであるのか。

答 既存施設がなくなり新しい施設に移転するときの補償で、体育館の補償は残るが、スポーツ広場に対するJR東海からの補償は、令和7年度で終了となる。

防災交通課

問 グリーンスローモビリティについて、昨年・今年と実証実験を重ねているが、今後、どのような位置づけを考えているのか。

答 高齢者などの足として、デマンド交通の補完と考えている。

管財課

問 令和7年度の入札結果から改善が必要と考えられる点は。

答 物品の入札における辞退率の高さ、また一般競争入札においては1者入札が多く競争原理が働きにくい状況にある。今後は、入札参加資格審査の条件の緩和等を検討していく必要がある。

税務課

問 法人町民税現年課税分が4,402,400円増額した要因は。

答 対象法人は昨年に比べ、未届の法人へ届出と申告を促した結果7件増ではあるが、事業所の全体的な業績の向上が大きな要因と考えられる。

上下水道課

問 事業収益の損益の分岐点について、どのように考えるか。

答 損益に対しては、人口の減少及び現状の費用と同程度を見込みで算出し、令和16年度には赤字になると予想される。そのため水道料金を上げていくことも検討していくことになる。

産業振興課

問 たはたの宿指定管理委託料900,000円が、昨年度より減額している理由は。

答 オープン以来、利用者が非常に増加している。令和6年度の利用者が416人、令和7年度が471人である。売上増加のため委託料について、令和7年度は、90万円、今年度は80万円に下げている。1割を毎年下げてきているような状況。



快適でくつろげる室内

土木整備課

問 青柳・長沢排水機場排水ポンプ設備保守点検業務委託1,378,300円について、この保守点検はどこまでの範囲を行うのか。

答 機械部分の簡易な分解点検と動作確認、注油等になっている。大きな部品交換等は含まれていない。



設置後50年を超えた排水設備

で決まったこと

予算総額……1億3,434万円
現計……111億1,721万8千円

主な補正予算案

アニソン花火富士川公演

運営業務 3,000万円

企業版ふるさと納税を活用し、(株)ふじかわまちづくり公社と連携し事業を実施。2027年大法師さくら祭りと同時開催。



選曲を町民（子ども含む）投票アンケートにしてほしい！（40代女性）

富士川町の誇れる象徴になると思いました。続けてください！(40代女性)



物価高対策水道料金減免事業

857万6,000円(上水道+簡易水道+営農飲雑用水契約者)

令和8年11月水道料金から、1,040円を差し引いて請求をする。

物価高対策町営水道未利用者支援金支給事業

25万2,000円

令和8年11月～12月に世帯主からの申請を受け、口座振込で支給する。



どうして1,040円だけなんでしょうか？（60代男性）

少なくても、もらえるのはありがたい。(60代男性)



定例会

令和8年度 一般会計 ●補正 ●予算

報告案 2件
- ●令和7年度財政健全化判断比率について
- ●教育委員会事務管理・執行状況及び評価について

専決処分承認案 1件
- ●クビアカツヤカミキリ緊急防除対策事業
  52,500,000円

条例改正案 2件
- ●富士川町行政手続条例の一部を改正する条例について
- ●富士川町廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例について

令和8年度富士川町補正予算案 8件
- ●一般会計
- ●国民健康保険特別会計
- ●後期高齢者医療特別会計
- ●介護保険特別会計
- ●工業団地整備事業特別会計
- ●水道事業会計
- ●簡易水道事業会計
- ●下水道事業会計

指定案 1件
- ●富士川町保健福祉支援センターの指定管理者を、社会福祉法人富士川町社会福祉協議会に指定する
  [指定期間]
  令和9年4月1日から令和14年3月31日までの5年間

契約締結案 1件
- ●町内小中学校で、整備された1人1台端末が耐用年数を迎えるため、新たに340台の端末を購入する
  18,180,140円

ラプラプ市姉妹都市提携

準備業務 75万円

フィリピンのラプラプ市と姉妹都市提携を進めることに。子どもたちの英語力を上げる取り組みの一つとして準備を進めていきます。





子どもが高校生のうちに
留学制度を実現してほしいです!
(40代女性)

峡南医療センター企業団短期貸付

1億5,000万円

経営強化プランを進めるため、市川三郷町と1億5,000万円ずつ、計3億円を一時貸付する。





医療は地域に必要です。
改善計画の内容も気になります!
(30代女性)

決算審査意見（抜粋）



岡本代表監査委員

■令和7年度の富士川町決算は、一般会計・特別会計合計で歳入137億1,664万円、歳出130億3,669万円となり、形式収支額は6億7,995万円となった。また翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支額は5億8,370万円となり、単年度収支額は9,064万円、実質単年度収支額は1億4,291万円と、共に黒字となった。

■本町においては、令和7年度から10年後の未来に向けたまちづくり「第三次富士川町総合計画」がスタートし、町の人口減少対策を進めるための「総合戦略」の取り組みも併せてスタートしたところである。モニタリングを強化し、長期計画に向けて努力されたい。

また、本町においては、7つの大規模事業の内5つの事業が完成し、残り2つの事業が計画進行中である。人口減少や少子高齢化等の動向を十分に見極める必要がある。また、今後予想されるインフラ資産（上水道等）の更新費用等と、その他特に近年日本各地で線状降水帯等大雨による災害発生が顕著になり、災害が起きてからでは遅いを念頭に防災・減災対策の強化も十分に配慮した綿密な財政計画が必要となるものと思料する。

定例会追加議案　請願1件・動議1件・意見書案1件・発委1件・発議1件を可決

■町民から「平田桃子議員の辞職を求める請願書」が提出

富士川町議会が令和8年7月6日に可決した「平田桃子議員に対する辞職勧告決議」の趣旨を尊重し、平田桃子議員に対し、速やかに自ら議員を辞職することを強く求めるもの。

審査結果　**採択**

■動議　平田桃子議員に対する再度の議員辞職を求める議員辞職勧告決議について

●**提案者**　斉藤欽也議員　●**賛成者**　秋山仁議員

●**提出理由**

進学を控えた中学生に対し、将来への希望を打ち砕く発言を行った。子育て教育論は極めて異様である。町民に対し説明責任を果たすと約束したが、いまだに具体的行動なし。町民の怒りは頂点に達し、富士川町議会の信用・信頼は落ちている。町民からの請願の意図をくみ、再度、辞職勧告決議を決議すべき。

●**反対討論**　望月眞議員

本日の請願審査の結果を本人に伝えていない。本人からの意思表示も受けていない。後日、本趣旨に沿った決議の手続きを踏まえて行うべきである。

●**議決結果**　賛成7人　反対3人　**可決**

●**賛成議員**　堀内春美、斉藤欽也、秋山仁、小林和良、深澤一幸、山本和志、樋口正彦

●**反対議員**　小林有紀子、望月眞、宇田川朱恵

■町長において専決処分することができる事項の指定について

地方自治法第180条第1項の規定により、町長において専決処分することができる事項を1件150万円以下の法律上、町の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解に関すること。

■富士川町損害賠償の額を定め和解することについて

富士川町発足以降に発生した損害賠償事案に関し、相手方と和解に至り、損害賠償金を支払ったが、当該事案において事前の議決を経ていなかったことから、地方自治法第96条第1項第12号及び第13号の規定に基づき、9月定例会において発委した。

■議員派遣を決定

●**目的**　小水力発電の導入を進め、土地開発公社により土地利用を進め、人口減少対策や定住促進に成果を上げている長野県松川村・茅野市を視察研修する。

●**日程**　令和8年10月29日(木)～10月30日(金)

令和8年 第4回 臨時会

令和8年第4回臨時会を7月6日に開催した。富士川町議会基本条例一部改正案など2件を原案のとおり可決した。

■ 発委第7号　富士川町議会基本条例の一部を改正する条例について

提案理由　議会の信頼性及び倫理意識の一層の向上を図り、議員の政治倫理について、所要の改正を行う必要があるため。

■ 発議1号　平田桃子議員に対する辞職勧告決議について

平田議員辞職勧告決議

可決

これまでの経過

- 6月24日
  - 平田議員が警察署へ氏名変更手続きに行き、免許失効判明。
  - 本人がSNS（フェイスブック）に失効中の運転について投稿。
- 6月25日
  - 議長・副議長・議会運営委員長が本人から事情聴取。失効中の運転とSNS投稿の事実を認める。
- 6月26日
  - 全員協議会を開催し、これまでの経過説明と本人への質疑を実施。
  - 本人退席後、今後の対応を協議、議会対応を検討する協議会を構成。
- 6月29日
  - 協議会での意見を集約、全員協議会で平田議員に対する辞職勧告の提案を決定。
- 7月6日
  - 第4回臨時議会を招集。平田議員に対する「辞職勧告決議」を可決。

議員は、自ら法令を遵守し、高い倫理観をもって町民の信頼に応える責務がある。しかし、運転免許失効後の運転に加え、その事実がSNSで広く拡散され、議会及び町の信用を著しく損なった。議員としての資質が強く問われる事態であることから、政治倫理的・道義的責任を求めるため辞職を勧告する必要があるため。



平田議員の辞職勧告決議賛否

賛成 9人 vs **1人 反対**

堀内　春美 議員	斉藤　欽也 議員
小林有紀子 議員	望月　　眞 議員
秋山　　仁 議員	小林　和良 議員
深澤　一幸 議員	山本　和志 議員
樋口　正彦 議員	



宇田川朱恵 議員

反対討論　宇田川朱恵議員

辞職勧告決議を出す際の基準や、手続きの整理を行いそれから処分を決定することが必要だと考えるので反対する。

賛成討論　望月眞議員

公人たる議員が4か月に及ぶ無免許運転をしたことは、看過できる行為ではない。また、無免許運転が発覚した時議長への報告を怠った。その後の不適切なSNS発信により、議員や議会への不信や怒りの声が寄せられている。マスコミの報道により議会および町のイメージダウンにつながった。早急に落ち着いた町を取り戻すため、議会として議員辞職勧告の発議に賛成する。

一般質問 ズバリ！聞きます！

動画はこちらから YouTube

通告一覧全ての問と答は掲載されておりません。二次元コード及びCATVをご視聴ください。

通告一覧

1 望月　眞 議員
- 再生可能な電力エネルギー源の自給率の向上と緊急時における電力源の確保について
- 本町における「主権者教育」の推進について
- 富士川河川敷「場外離着陸場」の整備について

2 秋山　仁 議員
- 道路整備について
- 「富士川町歴史文化館塩の華」の運営について
- (株)ふじかわまちづくり公社の運営について

3 樋口 正彦 議員
- 熊本地震の教訓を踏まえた本町の防災体制のあり方について
- 町道大椚大久保線完成に伴う交通安全対策について
- 町道天神中條4号線の雨水排水対策について

4 小林 和良 議員
- 国民健康保険の運営について
- 国保加入者の健康増進について

5 平田 桃子 議員
- 空き家対策について

6 小林 有紀子 議員
- 災害時における人的受援計画の実行性について
- オストメイトの方のストーマ装具購入費助成について

7 深澤 一幸 議員
- 災害時生活用水協力井戸の更なる普及について
- 災害時の電源確保について
- 学校体育館の避難所機能強化について
- 申請が必要な給付金の受給率100%達成に向けた対策について

8 山本 和志 議員
- 町営住宅の維持管理及び今後の整備検討方針について

望月　眞 議員



問 再生可能電力エネルギー源向上は
答 脱炭素 災害時電力源として重要

問 町内の河川などを活用した小水力発電開発の進ちょく状況は。

課長 安定した電力を供給可能な電力源であり、二事業所から提案を受け、現地調査と事業内容の説明を受けた。

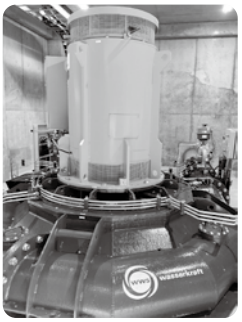
問 間伐材など活用のバイオマス発電検討は。

町長 真庭市を視察し、森林資源を活用した持続可能な循環型産業に取り組んでいた。木質バイオマス発電事業は、市内電力需要を賄える発電量であった。木材流通システムやバイオマス発電施設の導入が可能か研究していく。

主権者教育の推進は

問 小中学校の学習指導計画に系統的主権者教育の位置づけは。

教育長 学習指導要領に発達段階に応じた主権者教育の指導内容が示されている。学校や地域の特色を生かしたカリキュラムを工夫し、低学年から中学校まで一貫した計画が立てられる。校長会などを通じて系統的主権者教育推進を促す。



281戸分の電力供給可能!!
大月市真木川小水力発電所

場外離着陸場の整備は

問 公共用ヘリポート化の取組みは。

課長 国の許可基準に基づいた施設整備や環境影響調査など課題がある。当面は、場外離着陸場として利用し、課題について検証を行ない、住民説明会を開催する。

秋山 仁 議員



問 青柳32号線 いつ開通するのか
答 来年度中の開通を見込む

問 青柳32号線、一期工事140mの開通見通しは。

課長 明年度に工事を予定し、明年度中の開通を見込んでいる。なお、国の地域未来交付金などを活用し、交付金の手続きを進めている。

富士川町歴史文化館 塩の華の運営は

問 道の駅富士川観光客増加に伴い、塩の華に集客するよう観光コースを設けられないか。

課長 先人たちの人生を学べる重要な施設であるので、道の駅での更なるPR、まちづくり公社や道の駅を通じて旅行業者へのツアーの働きかけの検討をする。

問 企画展に本町の著名人の展示ができないか。

課長 近代人物館で著名人の紹介をしており、資料が揃っているので積極的に検討する。

問 実寸大の高瀬舟の復元をしないか。

課長 館内のスペースに限りがあるので、資料の展示や、見学者の動線確保に支障がある。渡し舟や床の実寸大舟形模様により、舟運時代に想いをはせてもらいたい。

㈱ふじかわまちづくり 公社の運営は

問 公社独自の収益確保が必要であるが、町の認識は。

課長 経営状況を踏まえたうえで、基本方針に示した、ふるさと納税事業の強化、地域ブランドの確立、新規事業の事業化による自主財源の確保、DMO機能を活用した観光振興と地域資源の活用を進める。



いまだに開通しない青柳32号線

樋口 正彦 議員



問 浄化センター近くに 防災拠点は
答 提案の有効性・実現性を 調査する

問 熊本地震では、下水道施設の被災によりトイレが使えず避難生活に大きな支障が生じた。大規模災害では下水道機能が停止する可能性があるため、浄化センター近くに仮設トイレを整備し、被災管路の影響を受けにくい衛生環境を確保する。また隣接のまほらの湯の温泉水を入浴や生活用水として活用、グラウンドは災害活動場所に福祉センターは配慮が必要な方の避難・支援拠点とする構想は。

課長 災害時は様々な状況が想定されるので、防災体制のあり方を考えるうえで、提案の有効性や実現性について、調査・研究していく。

町道大椚大久保線の 信号機設置は

問 当該交差点の交通安全対策として、信号機の設置が必要であると考えるが。

課長 地元の皆さまの意見を十分に聞きながら、当該交差点の交通状況や危険性を踏まえ、鰍沢警察署と共に信号機の早期設置を積極的に要望していく。

天神中條4号線の 雨水排水対策は

問 金手小林線から富士川中学校の正門前を通り、天神中條・長澤1号線を結ぶ町道天神中條4号線の雨水対策は、地域沿線住民の長年の悲願である。整備方針は。

課長 本年度から町道金手小林2号線側より、整備を進めていく予定である。



防災拠点構想イメージ図
(AI画像生成)

小林 和良 議員



問 国保税はどのように算定されるのか

答 前年所得や加入者数などを基に算定

問 国保税はどのような仕組みで算定されるのか。

課長 世帯単位で計算され、加入者の前年所得や加入人数などに応じて、町の条例で定められている保険税率などを組み合わせて算定している。また、世帯主が納税義務者となり、医療分、後期高齢者支援金分、介護分、そして子ども子育て支援金分を合算して、1年間の保険税額が決定される。

問 国保税率などは、県内他市町村と比較して、どの程度の水準か。

課長 現在、県内での順位は、ほぼ中間ぐらいと予測する。

国保加入者の健康増進について

問 国保加入者の健康状態や健康課題の分析は。

課長 一人当たりの医療費は、全国や県平均より高い。疾病別では、生活習慣病の割合が高いため、健康課題としている。

問 特定健診及び特定保健指導の実施状況の評価は。

課長 特定健診の受診率は高いが、特定保健指導の実施率は県平均をやや下回っている。健康寿命の延伸や医療費削減に向け、健診から保健指導、生活習慣の改善の流れを強化する必要がある。

※国保税…国民健康保険税の略称



みんなの健康がまちの元気につながる

平田 桃子 議員



問 町民参加型空き家再生事業は

答 多くの課題がある慎重に検討していく

問 県内での先進事例にも見られる、空き家の調査・地域の中でのコーディネート・移住促進活動の継続的な取り組みをするような、空き家対策に特化した地域おこし協力隊の雇用は。

課長 本町では、ヘリコプターやドローンの資格を有する隊員が、観光振興事業に取り組んでいる。先進事例なども含め、今後は空き家対策に限らず多方面で活動・活躍できる隊員の確保について検討していく。

問 一つの空き家をモデルケースとして、地域住民、建築やまちづくりに関わる方々、地域づくりなどを研究している学生など、町内外のさまざまな方を募った、参加型の空き家再生事業の検討は。

課長 空き家再生事業を町民の皆様と共に行うことは、空き家問題への関心を深め、地域の活性化につながるものと考える。一方で、修繕規模や費用の変動、各分野の専門家などとの連携、運営体制の明確化など、多くの課題を解決するとともに、持続可能な運営体制を慎重に検討していく。



古民家改修の様子

小林 有紀子 議員



問 受援計画にそった訓練の実施は
答 防災リーダーに参加をうながす

問 富士川町受援計画が実効性ある計画となるよう、災害時に応援職員を速やかに受入れ、住民対応を停滞させない体制を構築するため、訓練が必要と考える。地域防災リーダー養成講座修了者に、町職員の受援をサポートする存在として、町総合防災訓練や避難所開設訓練などに参加できないか。

課長 防災リーダーの皆さまに、町の避難所開設訓練に参加いただき、災害時の町職員との連携について確認する機会を設けたい。

オストメイトの方の装具購入補助増額は

問 オストメイトの方が実際に必要な基本的な装具を購入すると、町の定める日常生活用具給付等事業の基準額を超過するため自己負担額について、実態把握のアンケート調査などができないか。

課長 検討して進める。

問 約30年も変わっていない基準額を、増額改定する考えは。

課長 実態把握や近隣市町村の状況も確認し、慎重に検討していく。

※オストメイト…人工肛門・人工膀胱を造設した人



ストーマ装具は「生命の必需品」

深澤 一幸 議員



問 停電時の電源確保は
答 発電機など購入補助制度を検討

問 停電時、災害時生活用水協力井戸の電源確保のために、ポータブル電源、発電機など購入補助制度を新設する考えは。

町長 災害時生活用水協力井戸は、多くが電動ポンプを使用していることから、停電時には水を汲み上げることができず、井戸が活用できない状況となっている。このため、停電時の電源確保において、ポータブル電源や発電機などは必要な設備であり、災害への備えを後押しする観点から、補助制度の導入は有効である。制度の導入が可能か積極的に検討していく。

問 周知及び理解を深めるためにも、登録者のマップを作成できないか。

課長 災害時に協力井戸を活用するためには、あらかじめ、その位置を知らせておくことが重要である。今回、登録井戸が一定数集まったため、井戸の位置がわかるマップを作成し、町ホームページに掲載していく。

問 災害時における一般家庭の電源確保のために、ポータブル電源、発電機など購入補助制度を新設する考えは。

課長 補助制度と災害時の対策という点で災害時生活用水協力井戸と目的が同じであることから、同様の補助制度として検討していく。



災害時生活用水協力井戸
（長澤・折居様宅）

山本 和志 議員



問 町営住宅の日常点検・法令点検は
答 点検により適切な維持管理を図る

問 町営住宅の長寿命化計画の確実な実施を図るためには、予防保全の観点から、日ごろの日常点検、並びに法令点検は重要な役割を担っている。管理者としての日常点検、法令点検の各実施状況は。

課長 町営住宅の維持管理は、住宅の安全性や居住環境を確保するため、日常的な管理に加え、関係法令に基づく点検を実施している。予防保全の考え方に基づき、町営住宅の安全確保と適切な維持管理に努めていく。

空き室の活用方法の検討策は

問 経年劣化等の計画修繕を図りながら維持管理する5団地の、空き室の活用方法の検討策については。

課長 団地の管理方針、修繕費、住宅の状態、入居需要などを総合的に判断する中で、子育て世帯の定住促進を図るため、子育て世帯に向けた団地のリノベーションなどについて、先進地の事例なども参考に調査・研究をしていく。

※5団地(大久保、若宮、梅林第2～第4の各町営団地)

浸水想定区域内団地の検討策は

問 浸水想定区域内に立地する団地の中・長期の整備方針策は。

課長 今後の長寿命化計画の見直しにおいて、建物の状態や社会情勢などを踏まえながら、建替え、集約、譲渡売買など、将来的な団地のあり方について情報収集や調査・研究を行う。



計画的な屋上防水改修が望まれる町営住宅

65号分 モニターさんからの感想を頂きました!



町民のこえ

- 補正予算は、名称だけでは中身が分からない
- 「陳情や請願」はどう出すの?

こうしたら

- 公共ライドシェアに関して、簡単な解説がほしい!
- 短い見出しで、知りたい事を探しやすく!
- 議会の活動を、よりオープンに発信してほしい!
- 町民と議会とのパイプ役としてお手伝いしたい

むずかしい

- 委員会の説明が欲しい
- 「農村RMO」ってなんですか?

農村RMO…Region (リージョン・地域)
Management(マネジメント・運営)
Organization (オーガニゼイション・組織) の略。
町内中山間地域を対象に組織形成をしていく方針として、現在2団体を組織形成し、国の交付金を活用して農業を核とした経済活動と併せて、地域コミュニティ維持の為の取り組みを行っています。

よかった

- 表紙の写真は季節感があって良かった(2人)
- 表紙の解説が最終ページに載っていて良かった
- 議員紹介ページについて(8人)
  - ・見ていて楽しい
  - ・親近感、フレッシュな感じがよい
  - ・雰囲気が知れてよかった

各委員会活動報告

町内トンネル掘削工事 3.9kmが完了(全長11km)

リニア対策特別委員会　7月28日現地視察

トンネル2か所、橋梁を2か所進めており順調である。第一は貫通済、第二南巨摩は掘削に向けて、仮設工事中であり、第三南巨摩は小室ヤードを抜け、本坑掘削を品川方面に向けて掘削を進めている。第四東工区は3kmまで進んでおり、高下保守基地変電所は、現在50%盛土造成の進ちょく中である説明を受けた。



出典 JR東海HP

入札制度の検証と改善に向けて

まちづくり常任委員会　8月26日研修

町の入札・契約制度について、議員が基本的な仕組みや町の規定、実際の運用方法を理解し、共通認識を持つため管財課に依頼し、研修会を開催した。町では、5年前の事案を契機に入札制度の見直しが行われている。今回の研修を踏まえ、一般競争入札において一者のみの応札となる案件が見受けられることなど、競争性や公平性、透明性の観点から現行制度を検証する。

その上で、今後の課題や改善点について調査・検討を進め、町への提言を行うことも視野に取り組んでいく。



令和7年度 山梨県広報コンクール 優秀賞受賞!

「議会だより第60号」が、「議会広報誌部門・町村の部」において「優秀賞」を受賞。今後も、新しい試みを少しずつ取り入れ、より分かりやすい誌面になるよう委員一同取り組んでまいります。



ほぼ、予算内で建築可能

中学校整備等特別委員会　6月29日現地視察

中学校整備等特別委員会を開催し、富士川中学校新校舎建設の進ちょく状況や現状の課題などについて教育委員会より説明を受けた。終了後、建築状況の視察を行った。担当者及び現場責任者より説明を受け、躯体工事が進んでいる1、2階の状況を視察した。

物価高騰や資材不足で建築費の大幅増加が危惧されるが、現状では、建設業者などの努力で、ほぼ予算内で建築可能とのことだった。今後も建築状況を注視していく。



全国広報コンクール多数入賞歴のある、寄居町議会へ研修

広報常任委員会

山梨県町村議会広報研修会として、埼玉県寄居町議会を行政視察。2名で参加。
7月29日~30日





全国町村議会広報委員研修会 。
委員会全員で参加。
8月28日

寄居町議会への研修、また全国町村議会広報委員研修会で得た知識をもとに、より手に取ってもらえる、より見やすい、より興味をもてる広報誌を目指していく。

富士川町議会だより
■発行/山梨県富士川町議会
■発行責任者/議長　鮫田洋平
■編集/議会広報常任委員会

〒400-0592　山梨県南巨摩郡富士川町天神中條1134
TEL/0556-22-7211　FAX/0556-22-3177
Email/gikai@town.fujikawa.lg.jp

伝統と未来を紡ぐ

お店めぐり vol.2

本町には長い歴史を守り続ける人がいます。そして新たな挑戦を始める人もいます。
今回訪ねたのは、創業から地域に寄り添う「水口屋洋品店」と、コーヒーを通じて新たな交流を生み出す「真庵」。それぞれの歩みから、富士川町の魅力を探りました。

水口屋洋品店



～ 時をつなぐ、一筋の暖簾 ～

目を閉じると江戸の風が吹き抜けるような気がします。1846年、まだ江戸時代だった頃、水口屋はこの町で商いを始めました。店先には、かごやたんすなど暮らしに必要なものが並んでいたといいます。

人々の暮らしのそばで商いを続ける日々が、ここから始まりました。時代は移り、町の姿も暮らしも変わり1960年代にはVANジャケット、70年代にはマンシングウェアやマクレガー、90年代からはルコック。時代の流行を映しながら、暖簾は6代にわたって受け継がれてきました。

今では洋服や学生服、ジャージなどを揃え、町のこどもたちの成長に寄り添っています。制服の丈を伸ばしたり、ほつれや傷を直したりする中で、「大きくなったね」と成長を感じることもあるそうです。

店の奥では6代目が刺繍やお直しに向き合います。新しい服を届けるだけでなく、思い出の詰まった一着を再び着られるようにする。そこには、物を大切にする心と、人とのつながりがあります。

「服は福を呼ぶ」。江戸から令和へ、変わらないのは町の人に喜んでもらえる店でありたいという思い。今日も暖簾の向こうで、次の時代へ物語が紡がれています。

富士川町青柳町265　☎0556-22-0329
6代目店主　深澤 公一郎

真　庵
MAKOTO COFFEE CREATE



～ 一粒の豆から始まる物語 ～

遠く中米コスタリカの農園で大切に育てられた一粒のコーヒー豆。収穫された豆は船に積まれ、海を越え、およそ半年にも及ぶ長い旅を続けます。その終着点が、富士川町にある「真庵」です。

店主は実際にコスタリカのドン・リエ農園を訪れて生産者の思いや栽培方法に触れながら豆を選びます。遠い異国で育まれた豆は、長い船旅を経て店へ届き、今度は店主の手によって新たな命を吹き込まれます。豆の色や香りの変化を見極めながら丁寧に焙煎され一杯のコーヒーへ。そしてその一杯は、店主こだわりの器「やちむん※」に注がれ、お客様のもとへ届けられます。

「お客様の笑顔が見たい」　そう語る店主は若い頃に東京でアパレル関係の仕事に携わっていました。しかし、いつかは故郷へ戻り、自分の店を開きたいという思いを抱き続けていたそうです。その夢をかなえ令和5年9月に開業したコーヒー真庵。

「細く、長く、深く続けていきたい」

地域に寄り添いながら、一杯のコーヒーに思いを込める店主の姿がありました。今日もまた、遠い異国から始まった物語が、富士川町の小さな店で静かに紡がれています。

※やちむん＝沖縄の伝統陶器

富士川町青柳町680-3　☎ 090-7908-7464
店主&焙煎人　佐野　真

広報常任委員会　委員長 小林有紀子　副委員長 秋山仁　委員 深澤一幸・山本和志・樋口正彦・平田桃子